

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-212	高等学校	保健体育	保健体育	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	保体701	現代高等保健体育		

1 編修の基本方針

心身ともに健康で安全な生活を送り、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を養うことができるように、記述内容の検討はもとより、教科書全般にわたって配慮しました。

ヘルスプロモーションの考え方を生かし、自分の健康を自分で築くだけでなく、公共の精神に基づき個人を支える社会環境づくりについても社会の一員として考えることができるよう、教科書全般にわたって配慮しました。

応急手当の手順や方法を身につけることで、いざという時には自ら進んで実践できる態度を養う内容としました。

男女が互いを尊重しあい、すべての人が協力しあいながら、誰もが自分らしく生きていける社会を築いていくことを目指す内容としました。

運動や健康に関する自他や社会の課題を発見し、主体的に課題を解決できるような思考力・判断力・表現力を育むような内容としました。

環境汚染と健康とのかかわりやその対策を学ぶことで、持続可能な社会の実現を目指す内容としました。

適切な意思決定・行動選択ができるようにその過程や背景を学ぶとともに、根拠となる科学的知識を学べるような資料を提示しました。

2

対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
保健編 1単元	現代社会と 健康	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな健康の考え方や健康指標について取り上げました(第1号,第5号)。 ・がん免疫療法でノーベル賞を受賞した本庶佑氏やがんとともに生きる人々を支えるさまざまな取り組みについて取り上げました(第4号,第5号)。 	6～11ページ 18～19ページ
		<ul style="list-style-type: none"> ・運動, 食事, 休養・睡眠の重要性や健康とのかかわりについて取り上げました(第1号)。 ・薬物乱用への誘いに対する対処法について取り上げました(第1号,第3号)。 ・精神疾患など現代的な健康課題について重点的に扱いました(第1号)。 ・感染症の予防の原則や社会的対策について取り上げました(第3号,第4号)。 ・意思決定・行動選択の重要性について取り上げました(第1号,第2号)。 ・社会環境の健康への影響やヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりについて取り上げました(第3号)。 	20～25ページ 35ページ 36～43ページ 46～47ページ 52～53ページ 54～55ページ
保健編 2単元	安全な 社会生活	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な社会の形成のために自助・共助が大切なことを取り上げました(第3号,第4号)。 ・二輪車・自動車運転時に必要な生命を尊重する態度について取り上げました(第3号)。 ・交通事故にともなう責任について取り上げました(第3号)。 ・けがや急病の際の緊急の手当が生命を救うことについて取り上げました(第3号,第4号)。 	62ページ 64ページ 65ページ 68～74ページ
保健編 3単元	生涯を 通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・男女で異なる性意識を尊重することやすべての人が自分らしく生きていける社会づくりについて取り上げました(第2号)。 ・セクシュアル・ハラスメントについて取り上げました(第3号)。 ・妊婦への周囲の支援について取り上げました(第1号)。 ・加齢とともに妊娠のしやすさが変化することや不妊の原因は女性だけではなく男性の側の場合もあることを取り上げました(第1号,第4号)。 ・家族計画や人工妊娠中絶について取り上げました(第2号,第4号)。 ・働くことの意義を取り上げました(第2号)。 ・健康的な職業生活について取り上げました(第2号)。 	80ページ 80ページ 82～83ページ 83,88ページ 84～85ページ 92ページ 92～98ページ
保健編 4単元	健康を 支える 環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・環境汚染防止対策, 産業廃棄物処理について取り上げました(第4号)。 ・ごみの処理や循環型社会, 環境保全の取り組みについて取り上げました(第1号,第4号)。 ・保健・医療サービスの活用や医療保険のしくみについて取り上げました(第1号,第3号)。 ・日本赤十字社や国際機関の保健活動について取り上げました(第5号)。 ・健康に関する環境づくりについて私たち1人ひとりが積極的に社会参加することが必要であることを取り上げました(第3号)。 	104～105ページ 106～107,109 ページ 116～119,122 ページ 124～125ページ 126～127ページ

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
体育編 1単元	スポーツの 発祥と発展	・スポーツの文化的価値について取り上げました(第1号)。	140～141 ページ
		・日本生まれのスポーツがあることを取り上げました(第5号)。	142 ページ
		・オリンピックが世界平和の促進に大きな役割を果たしていることを取り上げました(第5号)。	144 ページ
		・パラリンピックが共生社会の実現に大きな役割を果たしていることを取り上げました(第3号)。	145 ページ
		・スポーツに求められる高潔さについて取り上げました(第3号)。	150～151 ページ
		・アンチ・ドーピング運動について取り上げました(第4号)。	151, 153 ページ
体育編 2単元	運動・ スポーツの 学び方	・体の動きはどのようなしくみで開始され、持続していくのかという効果的な動きのメカニズムについて取り上げました(第1号)。	168～169 ページ
		・体力トレーニングの考え方および実践方法を取り上げました(第1号)。	172～175 ページ
		・運動やスポーツによるけがを取り上げ、どのように注意すべきかを紹介しました(第4号)。	176～179 ページ
体育編 3単元	豊かな スポーツ ライフの 設計	・ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方があることについて取り上げました(第2号)。	182～183 ページ
		・スポーツにかかわるさまざまな職種があることを取り上げました(第2号)。	185 ページ
		・自分でスポーツライフを設計する課題を設けました(第2号)。	189 ページ
		・わが国や世界各国でおこなわれている、さまざまなスポーツ推進について取り上げました(第5号)。	190～193 ページ

3

上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

「喫煙と健康」「飲酒と健康」「薬物乱用と健康」「酒の広告について考えてみよう」「薬物乱用への誘いに対処してみよう」の項目で、学校教育法第21条1号にある「規範意識, 公正な判断力」を養えるように配慮しました。

28～35 ページ

「酒の広告について考えてみよう」「健康食品などの広告を分析してみよう」「あなたは健康情報を正しく判断していますか」の項目で、学校教育法第51条3号にある「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度」が身につくように配慮しました。

34, 114, 128 ページ

「さまざまな保健活動や社会的対策」「健康に関する環境づくりと社会参加」「健康政策を考えてみよう」の項目で、教育基本法第5条2号にある「各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質」を育めるように配慮しました。

124～127, 129
ページ

目的に応じたさまざまな体力の高め方を取り上げました。

172～175 ページ

学校教育法第21条8号に基づき、保健編では、健康・安全のために必要な習慣を形成するために役立つ内容とすることに、体育編では体育実技やスポーツ活動を通して、体力を養うのに役立つ内容とすることに意を用いました。

保健編, 体育編

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)




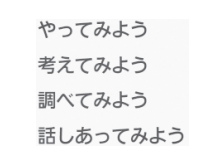
※受理番号	学校	教科	種目	学年
102-212	高等学校	保健体育	保健体育	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	保体701	現代高等保健体育		

1 編修上特に意を用いた点や特色

① 教科書全体における特色

- ◎原則的に、各学習項目を見開き2頁とし、1単位時間で学習ができるようにまとまりを意識した紙面構成としました。
- ◎各学習項目に関連した特設項目を適宜設けることで、主体的・対話的で深い学びを促すようにしました。
- ◎学習者にとって難解な用語や、学習者の理解を深めるためにより詳しい説明が必要だと思われる用語については、保健編、体育編それぞれの編末に「用語解説」を設けました。

② 各項目の構成における特色

各学習項目の冒頭に「学習の目標」を設けることにより、学習者がその項目で何を学ぶのか、またそれを学ぶことによって何ができるようになるかという目標を意識した上で学習に臨めるよう工夫しました。	
キーワードを太字で示し、重要な用語や概念を把握しやすいよう配慮しました。また、主要なキーワードについては、各項目の上部にまとめて記載しました。	
脇の余白に、必要に応じて補足説明を施し、より深い理解を促すよう配慮しました。	
図表等の下に、見るポイントや補足説明を施し、資料を適切に理解することができるよう配慮しました。	
適宜「事例」「コラム」を設け、学習者の興味・関心を広げる足がかりとなるよう配慮しました。	
主体的・対話的で深い学びを促すため、各項目末に学習内容をさらに深める課題（「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話しあってみよう」）を設けました。	

③ 学習活動や学習内容における特色

- ◎学習指導要領に示された指導方法の工夫をふまえ、「批判的思考に基づく分析」「ロールプレイング」「課題探求型学習」「ブレインストーミング」「課題発見型学習」など豊富な課題を設けました。
- ◎思考力・判断力・表現力を育成するため、学習した知識を活用して解決する課題（「時間の流れにそった防災・避難計画をつくろう」「自分でスポーツライフを設計してみよう」）を適宜設けました。
- ◎学習内容をさらに掘り下げるために、学習者自身に調べさせる課題（「医療機関のかかり方について考えてみよう」「諸外国のスポーツを推進する取り組みを調べてみよう」）を設けました。
- ◎学んだ技術を確実に身につけ、実践力を養うため、「実習」を設けました（「心肺蘇生法を実習しよう」）。
- ◎学びを発展させるために、学習内容の背景を理解させたり、興味・関心を高めたりする特設項目（「健康のとらえ方の歴史を振り返ってみよう」「うつ病からの回復をたどってみよう」「サリドマイド薬害に学ぶ」）を設けました。

2 対照表

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数	
保健編 1 単元 現代社会と健康	1. 健康の考え方と成り立ち 2. 私たちの健康のすがた	内容(1)ア(ア), イ	6 ~ 9 ページ	3	
	3. 生活習慣病の予防と回復 4. がんの原因と予防 5. がんの治療と回復 6. 運動と健康 7. 食事と健康 8. 休養・睡眠と健康 ●自分の身体活動量を調べてみよう ●BMI から自分の肥満度を調べてみよう	内容(1)ア(ウ), イ, 内容の取扱い(1)(2)	12 ~ 17, 20 ~ 27 ページ	9	
	9. 喫煙と健康 10. 飲酒と健康 11. 薬物乱用と健康 ●酒の広告について考えてみよう ●薬物乱用への誘いに対処してみよう	内容(1)ア(エ), イ, 内容の取扱い(3)	28 ~ 35 ページ	4	
	12. 精神疾患の特徴 13. 精神疾患の予防 14. 精神疾患からの回復 ●ストレスや不安に対処しよう	内容(1)ア(オ), イ, 内容の取扱い(4)	36 ~ 42 ページ	4	
	15. 現代の感染症 16. 感染症の予防 17. 性感染症・エイズとその予防	内容(1)ア(イ), イ	44 ~ 49 ページ	4	

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
社会と健康 保健編 1単元 現代	18. 健康に関する意思決定・行動選択 19. 健康に関する環境づくり ●イッキ飲みを防ごう ●望ましくない習慣をやめる作戦を考えよう ●暮らしているだけで健康になる環境を考えよう	内容(1)ア(ア), イ	52 ~ 58 ページ	3
保健編 2単元 安全な社会生活	1. 事故の現状と発生要因 2. 安全な社会の形成 3. 交通における安全 ●時間の流れにそった防災・避難計画をつくろう ●犯罪から身を守ろう	内容(2)ア(ア), イ, 内容の取扱い(5)	60 ~ 67 ページ	4
	4. 応急手当の意義とその基本 5. 日常的な応急手当 6. 心肺蘇生法 ●心肺蘇生法を実習しよう	内容(2)ア(イ), イ, 内容の取扱い(6)	68 ~ 74 ページ	4
保健編 3単元 生涯を通じる健康	1. ライフステージと健康 2. 思春期と健康 3. 性意識と性行動の選択 4. 妊娠・出産と健康 5. 避妊法と人工妊娠中絶 6. 結婚生活と健康 7. 中高年期と健康 ●それは本当に正しい避妊法ですか	内容(3)ア(ア), イ, 内容の取扱い(7)	76 ~ 85, 87 ~ 91 ページ	11
	8. 働くことと健康 9. 労働災害と健康 10. 健康的な職業生活	内容(3)ア(イ), イ	92 ~ 97 ページ	5
保健編 4単元 健康を支える環境づくり	1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁, 土壌汚染と健康 3. 環境と健康にかかわる対策 4. ごみの処理と上下水道の整備	内容(4)ア(ア), イ, 内容の取扱い(8)	100 ~ 107 ページ	6
	5. 食品の安全性 6. 食品衛生にかかわる活動 ●健康食品などの広告を分析してみよう ●栄養素や食品のブームについて考えてみよう	内容(4)ア(イ), イ, 内容の取扱い(1)	110 ~ 115 ページ	4
	7. 保健サービスとその活用 8. 医療サービスとその活用 9. 医療品の制度とその活用 ●医療機関のかかり方について考えてみよう	内容(4)ア(ウ), イ, 内容の取扱い(2)	116 ~ 122 ページ	5
	10. さまざまな保健活動や社会的対策	内容(4)ア(エ), イ	124 ~ 125 ページ	1
	11. 健康に関する環境づくりと社会参加 ●あなたは健康情報を正しく判断していますか	内容(4)ア(ウ), イ, 内容の取扱い(2)	126 ~ 128 ページ	3

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
体育編 1単元 スポーツの発祥と発展	1. スポーツの始まりと変遷	体育理論(1)ア(ア), イ, ウ	136～137ページ	1
	2. 文化としてのスポーツ ●日本生まれのスポーツ ●競技スポーツにおける競争の意味	体育理論(1)ア(ア), イ, ウ	140～143 ページ	1
	3. オリンピックとパラリンピックの意義	体育理論(1)ア(イ), イ, ウ	144～145ページ	1
	4. スポーツが経済に及ぼす効果	体育理論(1)ア(ウ), イ, ウ	148～149ページ	1
	5. スポーツの高潔さとドーピング ●スポーツの価値について考えてみよう ●なぜドーピングは許されないのか	体育理論(1)ア(イ)(ウ), イ, ウ	150～153 ページ	1
	6. スポーツと環境	体育理論(1)ア(エ), イ, ウ	154～155ページ	1
体育編 2単元 運動・スポーツの学び方	1. スポーツにおける技能と体力	体育理論(2)ア(ア), イ, ウ	158～159ページ	1
	2. スポーツにおける技術と戦術 ●スポーツルールはなぜ変わるのか考えてみよう ●スポーツとメディアの関係性	体育理論(2)ア(イ), イ, ウ	160～163 ページ	1
	3. 技能の上達過程と練習 ●球技における戦術の特徴を比較してみよう ●ゲームにおける戦術的判断	体育理論(2)ア(ウ), イ, ウ	164～167ページ	1
	4. 効果的な動きのメカニズム	体育理論(2)ア(ア), イ, ウ	168～169ページ	1
	5. 体力トレーニング	体育理論(2)ア(ア), イ, ウ	172～175ページ	1
	6. 運動やスポーツでの安全の確保 ●スポーツによるさまざまなリスクを考えてみよう ●スポーツ外傷・障害とその原因 ●健康づくりのために運動を実践してみよう	体育理論(2)ア(ア)(エ), イ, ウ	176～180 ページ	1
体育編 3単元 豊かな スポーツライフの設計	1. 生涯スポーツの見方・考え方	体育理論(3)ア(ア), イ, ウ	182～183ページ	2
	2. ライフスタイルに応じたスポーツ ●身のまわりの人のスポーツライフを調べてみよう ●自分でスポーツライフを設計してみよう	体育理論(3)ア(イ), イ, ウ	186～189 ページ	2
	3. スポーツを推進する取り組み	体育理論(3)ア(ウ), イ, ウ	190～191ページ	1
	4. 豊かなスポーツライフの創造	体育理論(3)ア(エ), イ, ウ	194～195ページ	1
			計	88

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-212	高等学校	保健体育	保健体育	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	保体701	現代高等保健体育		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
10	健康のとらえ方の歴史を振り返ってみよう	2	内容 (1)ア (7)健康の考え方 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。	1
11	生きることと病気について考えてみよう	2	内容 (1)ア (7)健康の考え方 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。	1
18	がんの克服をめざして～がん治療最前線～	2	内容 (1)ア (ウ)生活習慣病などの予防と回復 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であること。 内容の取扱い (1)また、(1)のアの(ウ)については、がんについても取り扱うものとする。	1
19	がんとともに生きる人々を支える取り組み	2	内容 (1)ア (ウ)生活習慣病などの予防と回復 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であること。 内容の取扱い (1)また、(1)のアの(ウ)については、がんについても取り扱うものとする。	1
43	うつ病からの回復をたどってみよう	2	内容 (1)ア (オ)精神疾患の予防と回復 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であること。 内容の取扱い (4)内容の(1)のアの(オ)については、大脳の機能、神経系及び内分泌系の機能について必要に応じ関連付けて扱う程度とする。	1
50	新たなインフルエンザを警戒しよう	2	内容 (1)ア (イ)現代の感染症とその予防 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があること。	1
51	新たな脅威～薬剤耐性菌～	2	内容 (1)ア (イ)現代の感染症とその予防 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があること。	1
86	性教育について考えてみよう	2	内容 (3)ア (7)生涯の各段階における健康 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること。	1

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
			<p>内容の取扱い</p> <p>内容の(3)のアの(ア)については、思春期と健康、結婚生活と健康及び加齢と健康を取り扱うものとする。また、生殖に関する機能については、必要に応じ関連付けて扱う程度とする。責任感を涵養することや異性を尊重する態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処についても扱うよう配慮するものとする。</p>	
98	仕事を健康の視点から考えてみよう	2	<p>内容 (3)ア (イ) 労働と健康</p> <p>労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があること。</p>	1
108	過去の公害を振り返ってみよう	2	<p>内容 (4)ア (ア) 環境と健康</p> <p>人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていること。</p>	1
109	海洋プラスチックごみについて考えてみよう	2	<p>内容 (4)ア (ア) 環境と健康</p> <p>人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていること。</p>	1
123	サリドマイド薬害に学ぶ	2	<p>内容 (4)ア (ウ) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関</p> <p>また、医薬品は、有効性及び安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であること。</p> <p>内容の取扱い</p> <p>(8)内容の(4)のアの(ア)については、廃棄物の処理と健康についても触れるものとする。</p>	1
129	健康政策を考えてみよう	2	<p>内容 (4)ア (オ) 健康に関する環境づくりと社会参加</p> <p>自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であること。</p>	1
138 139	世界の民族スポーツについて調べてみよう	2	<p>体育理論 (1)ア (ア) スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。</p>	1
146	オリンピックの課題	2	<p>体育理論 (1)ア (イ) 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、世界平和や国際親善に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること。</p>	1
147	パラリンピックの課題	2	<p>体育理論 (1)ア (イ) 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、世界平和や国際親善に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること。</p>	1
156	スポーツとまちづくり	2	<p>体育理論 (1)ア (エ) スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること。</p>	1
170	運動・スポーツと脳	2	<p>体育理論 (2)ア (ア) 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること。</p>	1

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
171	動きと力	2	体育理論 (2)ア (ア)運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること。	1
184	スポーツ科学のすすめ	2	体育理論 (3)ア (ア)スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化すること。	1
185	スポーツにかかわる職業	2	体育理論 (3)ア (ア)スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化すること。	1
192 ～ 193	諸外国のスポーツを推進する取り組みを調べてみよう	2	体育理論 (3)ア (ウ)スポーツの推進は、様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていること。	2
			合 計	23

(「類型」欄の分類について)

1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容

2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容